

BRM512 試走レポート（島田）

4/29 7:00 スタートで試走しました。結果は、以下の通りです。

スタート	7:00
PC1（青梅）	9:13 (+0h59)
PC2（花園）	11:31 (+1h29)
PC3（松井田）	14:49 (+1h47)
通過チェック	18:57 (+1h27)
PC4（富岡）	0:16 (+1h)
PC5（花園）	3:22 (+0h30)
PC6（青梅）	6:26 (+0h38)
ゴール	9:05 (+0h55)

○ スタート



<ウェア>

上：夏用長袖インナー、長袖ジャージ

下：冬用ロングタイツ

※前夜に碓氷峠を走った知り合いから結構寒いとの情報を得て、夏用ショーツから急遽冬用に変更（下は暑くても耐えられるので）

○ スタート～PC1

たまがわ定番のルートなので、特にコメントありません。

○ PC1～PC2

PC では、暑くなってきたので、半袖ジャージに着替え。

ここからは細かいアップダウンが続きますが、坦々と走れば問題ありません。貧脚の私には嫌いな区間ですが。

○ PC2～PC3

PC2 はイートインコーナーが広くて寛げます。これからの登りに備えて休憩してください。

群馬県に入るまでの、およそ区間半分はボーナス区間です。陸橋以外ではほとんどアップダウンがなく、快適なサイクリングが楽しめます。

群馬県に入ると、じわじわと標高を上げていきます。この時は、おぎのやの釜飯を目指していたので、特に寄り道せず、くるくる回し続けます。

○ PC3～通過チェック

暑さでぐったり気味でしたが、峠への覚悟を決めてスタートします。

おぎのや前に着いた時は、暑さで釜飯への意欲はなくなって、そのまま峠へ向かいます。



めがね橋はまだ序盤。斜度はきつくないので、回していればいずれ終わります。

(ヤビツ峠 60 分切れない)
貧脚の私は、ほぼインナーローで疲れないようにのんびり登りました。



結局、PC を出てから 2 時間
かけました。(18.9km)

軽井沢市街地は GW 中の観
光で渋滞、路肩を塞ぐ車や舗
装の悪さに辟易します。ブル
ベ当日も土曜日なので、これ
に近い状況かもしれません。
気をつけて下さい。

追分で渋滞も途切れ、往路最
高地点を過ぎると延々下り
ます。これを登るのか、と嘆
くほど下ります。全く予習も

せず、舐めていました、すいません、ごめんなさい、もう勘弁してください、
とつぶやきながら下ります。

ただ、R18 の下りは舗装の悪い箇所が多いです。冬場に大型車のチェーンで削
られた跡でしょう。嘆くだけでなく、道の悪さにも注意して下りましょう。最
後に小諸市街地から千曲川への激坂で下り終了。千曲川を渡れば風光明媚な道
をしばらく走ります。



私が通過したときは、
陽が沈みかけて、ギ
リギリのタイミング
でした。これはこれ
で、美しい景色でし
た。



太陽はもう山の陰に隠れましたが、暗くなる前に海野宿へ。

○ 通過チェック～PC4

通過チェック PC で辺りは真っ暗に。ここで、インナーを冬用長袖に着替えて、夜間走行に備えました。

※のちに、ここは通過チェックではなく PC4 になり、次の富岡が通過チェックに変わりました。

来た道をそのまま折り返します。千曲川から小諸市街地への激坂は、もう押して登りました。

※のちに、ここを登らないルートに変更（他レポート参照）

追分までは我慢して登ってください。登りきった後、バイパスへの分岐の直前にローソンがあります。この辺りで一枚羽織ることをお勧めします。バイパスに入ると入山峠へのアプローチが始まる地点までは少し下りますので、登りで暖まった体が冷えますので。

入山峠のアプローチに入ったところで、羽織ったものを一旦脱ぎます。そして登り。登り初めに、スキーバス転落事故の現場を通ります。この先の高速ダウンヒルでスピードを出しすぎないように、そして今後の旅の安全を祈念するのも

良いでしょう。

下る前には、できるだけ着込むことをお勧めします。私は、冬用長袖インナー＋半袖ジャージ＋長袖ジャージ＋薄いウインドブレーカーで下りましたが、それでも寒く感じました。また、明かりも不足気味なので、前照灯も2灯光量アップ。後方から高速で迫ってくる、車、大型車への視認アップのため、尾灯も全開に。

下りきって旧道と合流すると、往路とは異なる道で富岡に向かいます。間違えないで下さい。

○ PC4～PC5

富岡のPCはイトインがあります。睡魔など、疲れが出てくる頃なので、無理せず休んでください。

花園まで約16kmにある「道のオアシス神川」があります。ここは空調が効いている休憩所が夜間も空いていますので、絶好の仮眠ポイントです。私もここで1時間ほど寝ました。

○ PC5～PC6

花園出発時にオンタイムであれば、ほぼ完走は見えています。焦らず飯能のアップダウンを超えてください。

○ PC6～ゴール

あとは下り基調の道を帰るだけです。向かい風でも、それはご愛嬌。睡魔に注意してゆっくり帰ってきてください。



私は特に寄り道はしませんでした。各処に立ち寄りどころはあるようです。時間をやりくりして楽しんでください。

<予習ポイント>

追分から下りでは、他のレポートでもそうですが、登り返すことを考えながら下ると心にダメージを負いかねません。そこで、登り返し、ではなく別の峠道と考えましょう。下りはあくまで碓氷峠を登ったあとの下りボーナス、逆は入山峠への登坂と考えれば良いでしょう。ものは考えようです（笑）。

では、当日お待ちしております。

以上。

